


平成 28 年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業「どさんこアウトメディアプロジェクト」
ジュニアサポーター養成事業

| | | | |
|------|---|-------------------|--------------------|
| 実施者 | 江別市教育委員会 | | |
| ねらい | 中学生を対象に電子メディアの利用に関する学習機会を提供し、節度を持った利用の意識を高め、自ら主体的に取り組む推進する担い手（サポーター）を養成する。 | | |
| 実施日 | 平成28年10月17日（月）～10月19日（水） | | |
| 参加者 | 市内全中学校（8校）の生徒 総勢 2,798名 | | |
| 備考 | 講師：NPO法人「子どもとメディア」専務理事 古野 陽一 氏 | | |
| 日程 | 10月17日 江別市立江陽中学校、野幌中学校 18日 江別市立大麻中学校、大麻東中学校、江別第一中学校 19日 江別市立中央中学校、江別第二中学校、江別第三中学校 各会場における開始時間は次のとおり | | |
| | 講演時間 | 10月17日（月） | 10月18日（火） |
| | 1時限目 | | 8:40-9:30 大麻中学校 |
| | 2時限目 | | 9:35-10:25 中央中学校 |
| | 3時限目 | | 10:40-11:30 大麻東中学校 |
| | 4時限目 | 11:40-12:30 江陽中学校 | |
| | 5時限目 | | 11:35-12:25 第二中学校 |
| | 6時限目 | 14:30-15:20 野幌中学校 | 14:20-15:10 第一中学校 |
| 実施内容 | <p>○ 江別市では、市内全中学校において、「スマホとネットと中学生～みんなを守る規則と約束～」と題した講演会を実施した。</p> <p>○ スマホやネット機器が身体にどんな悪影響を与えるのかについて、具体的な調査結果等を示しながら、長時間の使用によって学力の低下等身体に様々な弊害が起こることを説明した。</p> <p>○ ゲーム依存によって昼夜逆転の生活になり、受験に失敗した後に引きこもりになった事例や、LINEトラブルの事例など、日常に起こり得る事例を紹介し、ネット機器に潜む危険性を伝えた。</p> <p>○ 「1週間チャレンジ」と題し、1週間スマホやネット機器を使えない状態にし、1週間後、使いたい機能を1つだけ決め、その機能の利用規約を読んで保護者が納得できるように説明し、納得したら時間制限を設定してもらって使用。1週間のお試し期間を経て、約束が守られるようであれば、また1つ使いたい機能を増やし、守れなければ使用禁止に戻すというのを繰り返すことで自制心を育て、「約束を守る力」を身に付けることの必要性を訴えかけた。</p> | | |
| |  | | |
| 感想等 | <p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホやネットが怖くなった。 ・中学生にはスマホやネットは必要ないということがわかった。 ・LINEの使用は最小限にし、トラブルを防げたらと思う。 ・2時間以上の勉強量で且つ4時間以上LINEを使用する人と、ほとんど勉強していない人が同じ点数だということに衝撃を受けた。 ・スマホを長時間使うことにより、脳の機能が低下し、学力に大きな影響を与えてしまうことが改めてわかった。 ・勉強中は、TV、ゲーム、スマホ等は一切見ないで勉強する事と、使用時間をしっかり守ることがとても大事なことだと思った。 ・スマホやゲームを使えば使うほど、いくら勉強しても成績が下がってしまうことに驚いた。 ・スマホは自分や相手から色々なものを奪い、人をダメにしてしまうことが良くわかった。 ・一度スマホの使用で成績が下がると、1年間は回復しないということに驚いた。 ・スマホをいじる事により失われていく物や事がたくさんありすぎてびっくりした。 ・1週間チャレンジを実施し、依存が酷くならないうちに終わらせたいと思った。 ・依存など自分には関係ないと思っていたが、話を聞いてみると自分に当てはまる事がたくさん | | |
| |  | | |

| | |
|------|---|
| | <p>あった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・依存から離れられる対策がわかり、依存症から脱却するチャンスができて嬉しかった。 ・1週間1週間積み重ねて、依存をなくし、スマホを持っていなかった時の自分に近づけられたら良いと思う。 ・「1週間チャレンジ」に挑戦してみようと思った。 <p>先生・教育委員会の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族にも協力してもらいながら、使用の仕方に気を付けようと思った。 ・小学校でも、スマホやネットゲーム等がどれだけ危険なのかを、ぜひ勉強させてもらいたいと思った。 ・入学説明会で啓発したいと思う。 ・保護者への情報提供、啓発活動を行っていきたい。 ・幼児のうちから保護者と一緒に考えていく必要があると感じた。 ・幼い頃から地域で育てる、取り組むことが大切だと感じた。 ・家庭への啓発活動をもっとしっかりとしていく必要性を感じた。 ・これからの入学説明会でも、保護者への啓発に使わせてもらいたいと思う。 ・学年通信や懇談などで、得た情報を伝えたいと思った。 |
| 成 果 | <p>(1) 自分自身の依存に気付き、使い方を見直そうとする様子が見られた。</p> <p>(2) 自身の使い方について反省し、今後の使い方について考えるなど、生徒自身の意識が高まった。</p> <p>(3) 親と話し合っ規則を定めるなど、意識の高まりだけでなく具体的な行動を伴う様子が見られた。</p> <p>(4) 情報モラルに関する生徒会活動が活性化した。</p> |
| 改善点等 | <p>(1) 1コマ(50分)では伝えきれず、後半駆け足になってしまうことが多く、せつかくの講演が時間に追われてしまったので、もう少し時間的に余裕のある組み方をした方が良い。</p> <p>(2) 講演を聞いて終わりではなく、2コマ使って、前半を講演、後半を振り返りの時間にするなど、内容を理解して自分で考える時間を意図的につくと、より生徒にアウトメディアについて理解させることができたのではないかと感じた。</p> |